



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月4日

上場取引所 東

上場会社名 寿スピリッツ株式会社
コード番号 2222 URL <http://www.kotobukispirits.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河越 誠剛

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営企画部部長 (氏名) 松本 真司

TEL 0859-22-7477

四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	10,889	0.6	712	△19.7	721	△19.7	412	△16.2
26年3月期第2四半期	10,822	10.3	887	8.0	898	8.2	492	△1.0

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 428百万円 (△12.5%) 26年3月期第2四半期 489百万円 (△0.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	39.81	—
26年3月期第2四半期	47.49	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	13,995	8,062	57.6	777.20
26年3月期	14,557	8,049	55.3	775.95

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 8,062百万円 26年3月期 8,049百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,500	2.4	2,500	6.7	2,500	5.8	1,470	15.0	141.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 1社 (社名) 純藍(株) 、 除外 1社 (社名) (株)国武商店
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	10,373,840 株	26年3月期	10,373,840 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	473 株	26年3月期	413 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	10,373,376 株	26年3月期2Q	10,373,476 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示するとともに、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における事業環境は、消費税増税前の駆け込み需要の反動減、物価上昇及び税負担感増加に伴う購買意欲の減退に加え、夏場の大雨や台風による天候不順の影響を受け、厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、既存ブランドの育成及び主力商品の強化はもとより、持続的な成長に向け、『ニューコンセプトメーカー』のテーマのもと、新商品・新店舗・新ブランド創り、新ビジネス、海外展開を強化ポイントに、取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、10,889百万円（前年同期比0.6%増）となり、僅かながら前年同期を上回ったものの、利益面では、人件費の増加などにより販売費及び一般管理費が増加した結果、営業利益は712百万円（前年同期比19.7%減）、経常利益は721百万円（前年同期比19.7%減）、四半期純利益は412百万円（前年同期比16.2%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、「ジャパルシー」について量的な重要性が乏しくなったため、「その他」に含めて記載する方法に変更しており、以下の記載における前第2四半期連結累計期間との比較は、当第2四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき組み替えた数値を使用しております。

① ケイシイシイ

「ルタオ」ブランドを擁するケイシイシイは、通販部門が、消費税増税の影響による受注の減少が見込まれたため、費用対効果を考慮し、販促活動を抑制したことにより、売上高は前年同期に対し減収となった一方、主力商品「ルタオプレミアムあある」の道内での卸展開の強化などにより全体では増収で推移いたしました。また、昨年7月、東京・表参道に立上げましたアントルメグラッセ専門店「GLACIEL（グラッシェル）」は、認知度の向上に向け、通販・催事展開など販売チャンネルの拡大に努めました。

その結果、売上高は、3,688百万円（前年同期比2.1%増）、営業利益は285百万円（前年同期比7.3%減）となりました。

② 寿製菓

寿製菓は、新商品開発による新製造ラインの構築とOEM販路の拡大に注力した一方、山陰地区が昨年3月に開通した鳥取及び松江自動車道開通効果の反動減、出雲大社の遷宮効果の一巡などにより減収となった結果、売上高は3,850百万円（前年同期比3.9%減）、営業利益は283百万円（前年同期比31.5%減）となりました。

③ 販売子会社

販売子会社は、関西地区は、新商品「九条ねぎ京えびせんべい処」及び「神戸三宮フレンチトーストラングドシャ」などの新商品の拡販により増収で推移しました。一方、東海地区は、主力商品「小倉トーストラングドシャ」の拡販に努めたものの、伊勢方面が遷宮効果の反動減で苦戦いたしました。その結果、売上高は2,217百万円（前年同期比1.4%減）、営業利益は95百万円（前年同期比22.0%減）となりました。

④ 九十九島グループ

九十九島グループは、昨年6月、福岡・大名に立ち上げましたフレンチトースト専門店「Ivorish（アイボリッシュ）」の2号店を本年4月に東京・渋谷にオープンするなど新業態店の認知度拡大に注力いたしました。その結果、売上高は、新規出店の増加などにより、1,575百万円（前年同期比8.4%増）と増収となった一方、利益面では、人件費の増加などにより販売費及び一般管理費が増加した結果、営業利益は22百万円（前年同期比56.1%減）と減益になりました。

⑤ 但馬寿

但馬寿は、新商品開発に注力した一方、グループ向け売上の低迷などにより売上高は529百万円（前年同期比8.1%減）、営業利益は26百万円（前年同期比40.6%減）となりました。

⑥ シュクレイ

首都圏での多ブランド展開に注力しておりますシュクレイは、各ブランドの知名度向上に向け、販促及び接客強化による消費者への訴求力の向上に努めました。また、新規出店では9月に新ブランド「東京フィナンシェ」を立ち上げ東京駅に出店いたしました。その結果、売上高は、1,287百万円（前年同期比17.5%増）となり、営業利益は52百万円（前年同期比129.6%増）となりました。

⑦ その他

その他は、損害保険代理業、健康食品事業及び通販基幹業務システムサービス事業が含まれております。健康食品事業は、事業の再構築に向け、本年9月をもって会員制直販事業を中止いたしました。また、通販基幹業務システムサービス事業におきましても、事業中止に向け既存会員の他社サービス等への移行を進めました。その結果、売上高は15百万円（前年同期比85.7%減）となり、営業損失は36百万円（前年同期は営業損失104百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、13,995百万円となり、前連結会計年度末と比べ562百万円減少いたしました。主な要因は、現金及び預金の減少(395百万円)、受取手形及び売掛金の減少(230百万円)及び商品及び製品の増加(91百万円)などの要因によるものです。

負債は、5,932百万円となり、前連結会計年度末と比べ575百万円減少いたしました。主な要因は、流動負債における未払法人税等の減少(380百万円)、その他の減少(122百万円)、長期借入金の減少(153百万円)などの要因によるものです。

純資産は、8,062百万円となり、前連結会計年度末に比べ12百万円増加いたしました。主な要因は、四半期純利益の計上による増加(412百万円)及び有価証券評価差額金の増加(15百万円)、配当金の支払いによる減少(414百万円)などの要因によるものです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ2.3ポイント増加し、57.6%となり、1株当たり純資産は777円20銭となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物(以下「資金」という。)残高は、前連結会計年度末に比べ395百万円減少し、2,094百万円(前年同期比11.4%増)となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、577百万円(前年同期比5.9%増)となりました。

主な要因は、税金等調整前四半期純利益704百万円、減価償却費の計上302百万円、売上債権の増減額230百万円の計上があった一方、法人税等の支払678百万円などの減少要因によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、352百万円(前年同期比30.3%減)となりました。

主な要因は、有形固定資産の取得による支出320百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、620百万円(前年同期比134.3%増)となりました。

主な要因は、配当金の支払414百万円及び長期借入金の返済による支出190百万円などの減少要因によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想に関しましては、本資料発表日現在におきましては、前回公表数字(平成26年5月13日付「平成26年3月期決算短信」)からの変更はありません。

当第2四半期連結業績は、消費税増税や天候不順の影響を受け、公表数値を下回る状況で推移いたしましたが、下期におきましては、上期の落ち込みを挽回すべく、販促強化などクリスマス・年末・バレンタインなどイベント商戦での更なる対策強化を図り、期初計画の達成に向け取り組んでまいります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前当期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,690,554	2,294,765
受取手形及び売掛金	2,489,507	2,258,543
商品及び製品	563,946	655,145
仕掛品	40,319	32,333
原材料及び貯蔵品	347,481	339,888
その他	474,954	518,375
貸倒引当金	△26,348	△29,714
流動資産合計	6,580,413	6,069,335
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,183,184	3,120,486
機械装置及び運搬具(純額)	735,404	737,044
工具、器具及び備品(純額)	246,448	238,057
土地	2,500,667	2,500,667
リース資産(純額)	10,754	9,841
建設仮勘定	7,531	14,760
有形固定資産合計	6,683,988	6,620,855
無形固定資産	105,678	108,210
投資その他の資産		
その他	1,207,509	1,214,526
貸倒引当金	△19,995	△17,783
投資その他の資産合計	1,187,514	1,196,743
固定資産合計	7,977,180	7,925,808
資産合計	14,557,593	13,995,143
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	790,630	854,484
短期借入金	1,650,000	1,650,000
1年内返済予定の長期借入金	355,628	318,468
未払法人税等	677,175	296,632
賞与引当金	412,990	445,770
その他	965,975	843,323
流動負債合計	4,852,398	4,408,677
固定負債		
長期借入金	575,185	421,531
退職給付に係る負債	846,071	874,964
その他	234,689	227,768
固定負債合計	1,655,945	1,524,263
負債合計	6,508,343	5,932,940

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,217,800	1,217,800
資本剰余金	1,323,161	1,323,161
利益剰余金	5,489,008	5,487,051
自己株式	△421	△543
株主資本合計	8,029,548	8,027,469
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19,702	34,734
その他の包括利益累計額合計	19,702	34,734
純資産合計	8,049,250	8,062,203
負債純資産合計	14,557,593	13,995,143

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	10,822,747	10,889,697
売上原価	5,185,572	5,270,377
売上総利益	5,637,175	5,619,320
販売費及び一般管理費	4,750,061	4,907,205
営業利益	887,114	712,115
営業外収益		
受取利息	218	174
受取配当金	1,852	2,087
受取地代家賃	8,057	8,023
その他	22,101	18,114
営業外収益合計	32,228	28,398
営業外費用		
支払利息	15,764	11,310
その他	5,383	7,618
営業外費用合計	21,147	18,928
経常利益	898,195	721,585
特別損失		
固定資産売却損	76	—
固定資産除却損	5,253	5,881
減損損失	—	11,513
特別損失合計	5,329	17,394
税金等調整前四半期純利益	892,866	704,191
法人税等	400,220	291,211
少数株主損益調整前四半期純利益	492,646	412,980
四半期純利益	492,646	412,980

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	492,646	412,980
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,227	15,032
その他の包括利益合計	△3,227	15,032
四半期包括利益	489,419	428,012
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	489,419	428,012

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	892,866	704,191
減価償却費	288,980	302,307
減損損失	—	11,513
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	4,385	1,154
賞与引当金の増減額 (△は減少)	41,017	32,780
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	19,681	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	—	28,893
受取利息及び受取配当金	△2,070	△2,261
支払利息	15,764	11,310
固定資産売却損益 (△は益)	76	—
固定資産除却損	5,253	5,881
売上債権の増減額 (△は増加)	32,244	230,964
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△29,857	△75,620
仕入債務の増減額 (△は減少)	8,870	63,854
その他	△283,121	△49,867
小計	994,088	1,265,099
利息及び配当金の受取額	2,139	1,752
利息の支払額	△14,744	△11,101
法人税等の支払額	△436,422	△678,524
営業活動によるキャッシュ・フロー	545,061	577,226
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△300	—
定期預金の払戻による収入	1,300	—
投資有価証券の取得による支出	△603	△501
有形固定資産の取得による支出	△405,064	△320,785
有形固定資産の売却による収入	57	—
無形固定資産の取得による支出	△14,125	△20,625
関係会社株式の取得による支出	△63,336	—
出資金の回収による収入	475	191
敷金及び保証金の差入による支出	△2,287	△14,192
敷金及び保証金の回収による収入	10,932	2,724
その他	△33,670	224
投資活動によるキャッシュ・フロー	△506,621	△352,964
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	100,000	—
長期借入れによる収入	450,000	—
長期借入金の返済による支出	△483,890	△190,814
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△12,046	△6,678
自己株式の取得による支出	—	△122
配当金の支払額	△311,204	△414,937
その他	△7,500	△7,500
財務活動によるキャッシュ・フロー	△264,640	△620,051
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△226,200	△395,789
現金及び現金同等物の期首残高	2,106,934	2,490,554
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,880,734	2,094,765

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						
	ケイシー シー	寿製菓	販売子会社	九十九島 グループ	但馬寿	シュクレイ	計
売上高							
外部顧客への売上高	3,208,193	2,702,678	2,249,380	1,313,081	147,364	1,095,404	10,716,100
セグメント間の内部 売上高又は振替高	402,648	1,303,736	—	140,391	429,010	—	2,275,785
計	3,610,841	4,006,414	2,249,380	1,453,472	576,374	1,095,404	12,991,885
セグメント利益 (△は損失)	307,415	413,646	123,049	50,620	44,972	22,954	962,656

	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額(注)3
売上高				
外部顧客への売上高	106,647	10,822,747	—	10,822,747
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,218	2,277,003	△2,277,003	—
計	107,865	13,099,750	△2,277,003	10,822,747
セグメント利益 (△は損失)	△104,354	858,302	28,812	887,114

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険代理業及び健康食品事業並びに通販基幹業務システムサービス事業が含まれております。

2. セグメント利益(△は損失)の調整額28,812千円は、当社とセグメントとの内部取引消去額300,687千円、セグメント間取引消去額6,566千円、たな卸資産の調整額△4,938千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△273,503千円であります。全社費用は、主に提出会社におけるグループ管理に係る費用であります。

3. セグメント利益(△は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						
	ケイシー シー	寿製菓	販売子会社	九十九島 グループ	但馬寿	シュクレイ	計
売上高							
外部顧客への売上高	3,244,297	2,560,813	2,215,264	1,432,030	135,606	1,287,301	10,875,311
セグメント間の内部 売上高又は振替高	443,742	1,289,555	2,033	143,171	394,215	—	2,272,716
計	3,688,039	3,850,368	2,217,297	1,575,201	529,821	1,287,301	13,148,027
セグメント利益 (△は損失)	285,111	283,225	95,951	22,236	26,720	52,710	765,953

	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額(注)3
売上高				
外部顧客への売上高	14,386	10,889,697	—	10,889,697
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,068	2,273,784	△2,273,784	—
計	15,454	13,163,481	△2,273,784	10,889,697
セグメント利益 (△は損失)	△36,754	729,199	△17,084	712,115

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険代理業及び健康食品事業並びに通販基幹業務システムサービス事業が含まれております。
2. セグメント利益(△は損失)の調整額△17,084千円は、当社とセグメントとの内部取引消去額307,324千円、セグメント間取引消去額8,831千円、たな卸資産の調整額△6,092千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△327,147千円であります。全社費用は、主に提出会社におけるグループ管理に係る費用であります。
3. セグメント利益(△は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より「ジャパルシー」について量的な重要性が乏しくなったため、「その他」に含めて記載する方法に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成しており、前第2四半期連結累計期間の「1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」に記載しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「シュクレイ」セグメントにおいて、店舗の閉店が決定されたことにより、回収可能性が認められなくなった事業資産に係る減損損失を特別損失に計上しております。なお、当該減損損失計上額は11,513千円であります。